

経済産業省 令和7年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業
(地域におけるヘルスケア産業推進事業)

オレンジイノベーション・プロジェクト ～認知症当事者をつくる、誰もが生きやすい社会～ のご紹介

2025年5月21日

株式会社日本総合研究所

高齢社会イノベーショングループ 高橋光進

オレンジイノベーション・プロジェクトとは

- ・ 経済産業省では、認知症の人が企業の開発プロセスに「参画」し、企業とともに新しい価値を生み出す「共創」を行う「当事者参画型開発（＝オレンジイノベーション・プロジェクト）」を推進。
- ・ 本取組の目的は、共生社会の実現に資する質の高いソリューションが創出される仕組みの構築。

当事者参画型開発の取組み

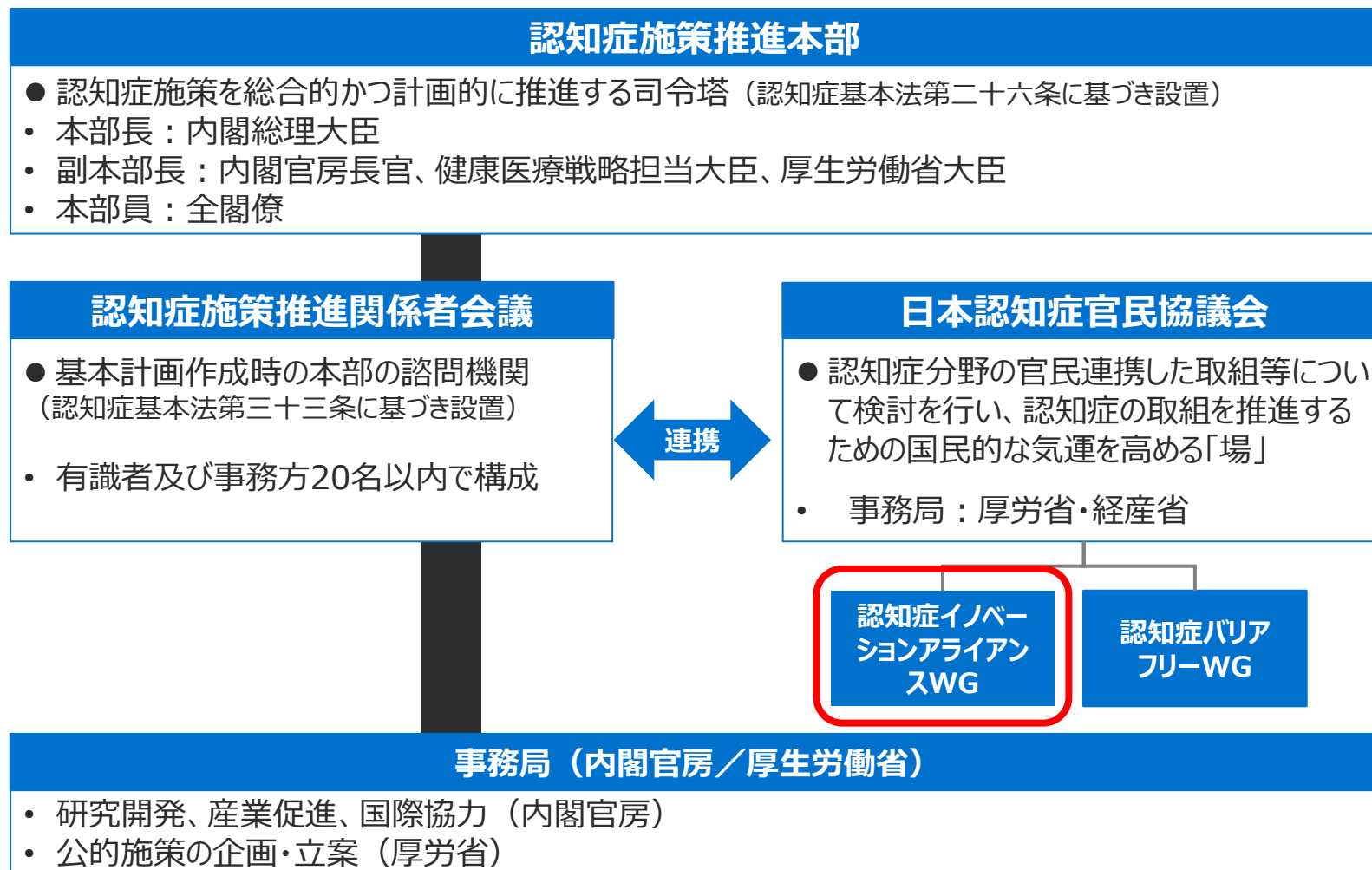


本取組における「当事者参画」、「参画」、「開発」の定義・考え方

- ・ 本取組における「当事者参画」とは、「製品やサービスに対するニーズをもつ **認知症の人自身が、協力の意思を持って、**それらの製品・サービスの開発プロセス（企画、実施、評価等）に『参画』すること」と定義する。
- ・ **認知症の人の主体的な協力意思を伴わない、一方的な観察や意見聴取は「当事者参画」とは言えない。**
- ・ 「認知症の人のニーズを反映した製品・サービス」であることの条件として、認知症の人の意見が製品・サービスの「コアあるいはそれに近い部分」への反映を意図したものである必要がある。
- ・ ここでの「**開発**」は**新しい製品・サービスの創出だけでなく、既存の製品・サービスを認知症の人の意見をもとに改良することも含む。**

政府における認知症施策の推進体制、本プロジェクトの位置づけ

- 日本認知症官民協議会のもと、経産省主導で産業創出を図る認知症イノベーションアライアンスWG、厚労省主導で官民での「バリアフリー対応」の具現化を目指す認知症バリアフリーWGが連携しながら、それぞれ取組みが進められている。
- 本プロジェクトは認知症イノベーションアライアンスWGの取組として実施。



認知症施策推進基本計画における位置づけ

- 令和6年12月3日に閣議決定された「認知症施策推進基本計画」において、認知症の人と家族等が企業の開発活動に参画することについて、基本的施策および重点目標の一部として盛り込まれている。

Ⅲ 基本的施策

2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

(4) 認知症の人にとって利用しやすい製品・サービスの開発・普及の促進

日本認知症官民協議会による官民連携の下、**認知症の人と家族等が参画した、認知症の人が地域で生活する上で利用しやすい製品・サービスの開発・普及を促進する**ため、モデル的取組を好事例として展開し、そうした取組が自主的、継続的に進むよう取り組む。

【重点目標3】
認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること

プロセス指標	アウトプット指標	アウトカム指標
・ 部署横断的に認知症施策の検討を実施している地方公共団体の数	・ 就労支援も含めて個別の相談・支援を実施していることを明示した認知症地域支援推進員や若年性認知症支援コーディネーターを設置している地方公共団体の数	・ 自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると感じている認知症の人の割合
・ 認知症の人と家族等が参画して認知症施策の計画を策定し、その計画に達成すべき目標及びKPIを設定している地方公共団体の数	・ 認知症バリアフリー宣言を行っている事業者の数	・ 地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合
	・ 製品・サービスの開発に参画している認知症の人と家族等の人数	・ 認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合
	・ 基本法の趣旨を踏まえた認知症ケアパスの作成・更新・周知を行っている市町村の数	
・ 医療・介護従事者に対して実施している認知症対応力向上研修の受講者数	・ 認知症疾患医療センターにおける認知症関連疾患の鑑別診断件数	・ 認知症の人の希望に沿った、保健医療サービス及び福祉サービスを受けていると感じている認知症の人の割合

出所：「認知症施策推進基本計画」（令和6年12月3日閣議決定）p10、24より抜粋

企業・団体等の参画状況

- 本プロジェクトは、2020年度に検討を開始し、認知症の人とともに生活課題の解決ややりたいことの実現に資する製品・サービスの開発に取り組む企業・団体を対象に開発の支援を継続的に実施。
- 昨年度は、46の企業・団体を採択した（2020～22年度：5社⇒2023年度：20社⇒2024年度：46社）。
※外部有識者からなる審査会（非公開）において採択可否を検討

令和6年度 オレンジイノベーション・プロジェクト 実践企業・団体（46企業・団体）



出所：経済産業省「認知症イノベーションアライアンスWG 令和6年度 第1回 事務局資料」p7
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ninchisho_wg/pdf/2024_001_03.pdf（参照年月日：2025年2月20日）

【参考】開発している製品・サービスの例



- スケジュール管理を支援する
分かりやすいデザインの
「日めくりカレンダーアプリ」 yottey(ヨッティ)



- 10万円以下の紙幣の引出しのみのシンプルな機能を持ち、操作に迷わない・間違えにくく、どなたでもスムーズに利用可能なATM「ホックタッチ」



- 紙の日めくりカレンダーをデジタルで再現し、日付と曜日表示をメインとしたデジタル日めくりカレンダー。



- 手を問わずに立ったまま履ける「スパットシューズ」



視覚的な分かりやすさで間違え防止

- 慣れ親しんだガス火調理をいつまでもシニア世代向けガスコンロ SAFULL+（セイルフルプラス）視覚的な分かりやすさのためにカラーリング、デザイン等を工夫。



- 1人暮らしの高齢者が使用する電気ポットを通じて、離れて暮らすご家族がポットの使用状況を知ることのできる安否を確認するサービス



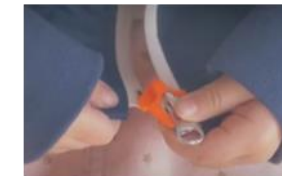
- いつでもどこでもメモができ、自然に目に入って思い出せる、手首に巻きつけて“身につけるメモ帳”「wemo」



- 認知症の人の行動とその背景を知ることができる体験型VRトレーニングプログラム「FACEDUO（フェイスデュオ）」



- 誰でも簡単に使える腕時計型の徒歩用ナビ「ツギココ」



- 誰でも開け閉めがしやすいファスナー



- 動画を見ながら誰もが楽しくクラフトキットをつくることのできる「オンデマンドくらふと」



- 日々のできごとを写真とセットで記入して、記憶を手帳に記録する形で保持する「おぼえている手帳」



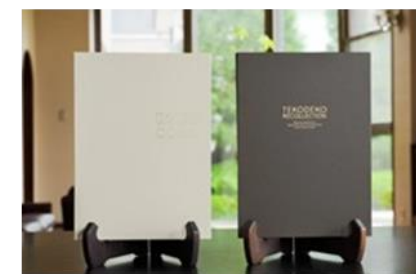
- 「認知症の方も安心して楽しめる！日帰りバスツアー」



momote



- 誰でも、いくつになっても、使いやすい・続けやすい高保湿スキンケア「momote（モモテ）」



- 思い出の写真と楽しい会話でふたたび輝く「TEKODEKO RECOLLECTION 人生まると回想アルバム」

パートナー団体の拡大

- 日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会、厚生労働省と連携し、開発に参画する認知症の人の募集にご協力いただくパートナー団体、自治体、介護事業者、医療機関等の拡大に向けた取組を実施。
- 令和7年3月末時点で**認知症の人450名、家族・支援者等310名、計760名※**が開発活動に参画。 ※令和6年度実績値、延べ人数

自治体

- 京都府
- 兵庫県太子町
- 三重県四日市市

介護事業者

- 特別養護老人ホーム 六甲の館
- 北区在宅デイサービスセンター かみやま倶楽部

医療機関

- 京都府こころのケアセンター
若年性認知症支援チームおれんじブリッジ

当事者団体等

- 地域共生開発機構 ともつく
- レイの会
- NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター
- ひょうご認知症希望大使活動パートナー

自治体

- 鳥取県鳥取市

自治体

- 福岡県福岡市
- 福岡県宗像市
- 大分県

介護事業者

- ケアグループなでしこ

近畿

認知症の人106名
家族・支援者等56名

中国

認知症の人39名
家族・支援者等18名

九州

認知症の人4名
家族・支援者等14名

当事者団体等

- JDWG
- 認知症の人と家族の会

北陸・東北

認知症の人12名
家族・支援者等5名

自治体

- 山形県天童市

当事者団体等

- NPO法人ニット

関東

認知症の人279名
家族・支援者等207名

自治体

- 静岡県三島市

医療機関

- 国立長寿医療研究センター

当事者団体等

- 一般社団法人ボーダレス

東海

認知症の人10名
家族・支援者等10名

自治体

- 東京都八王子市、日の出町
- 埼玉県さいたま市
- 神奈川県
- 神奈川県大和市、横須賀市

介護事業者

- 有限会社ハピア オレンジカフェハルハ
- 100BLG株式会社
- NPO法人シニアライフセラピー研究所『亀吉』
- 社会福祉法人池上長寿園
大田区若年性認知症支援相談窓口
- 社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑
- HYS Space

医療機関

- 東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」

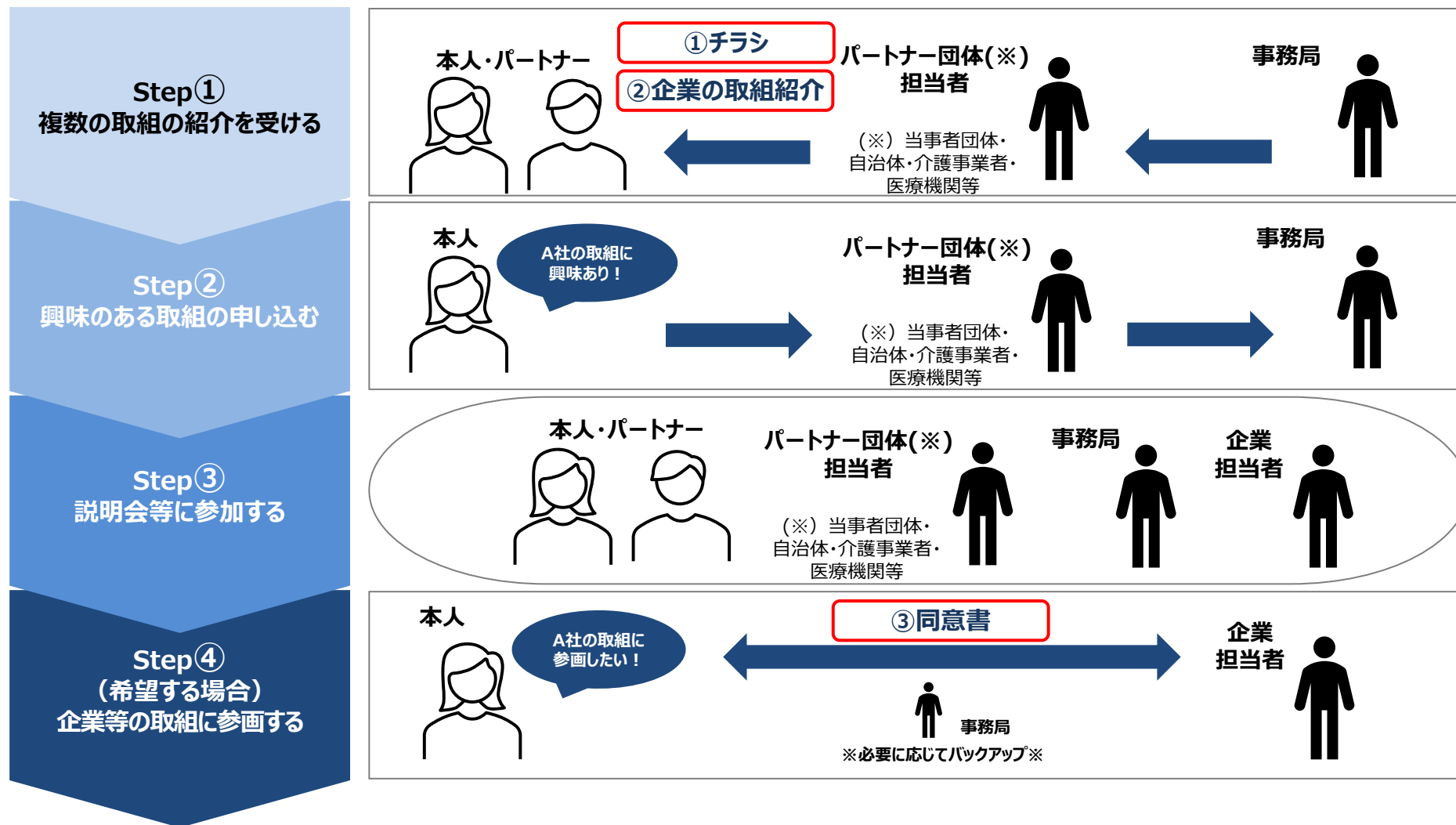
当事者団体等

- NPO法人マイway
- リンカフェ
- さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター
- わすれな草の会
- 一般社団法人ユニオン
- 一般社団法人Dフレンズ町田
- ミモザ
(東京都武蔵野市の若年性認知症の仲間と家族の交流の会)
- NPO法人いきいき福祉ネットワークセンター

出所：株式会社平凡社地図出版 / ROOTS製作委員会

【参考】参画いただく認知症の人の募集の流れ

- ・ パートナー団体経由で地域の認知症の人及び家族等にチラシと企業の取組紹介資料を配布し、希望者をおつなぎいただいている。
- ・ 本プロジェクトにおいては、認知症の人は「認知機能の低下により日常生活に支障が生じている方」と定義しており、認知症の確定診断の有無は問わず、軽度認知障害（MCI）、軽度～中等度認知症、重度認知症、若年性認知症の方が幅広く対象となる。



開発事例：トヨタ自動車株式会社 徒歩用道案内サービス「ツギココ」（１／２）

- トヨタ自動車では、誰もが不安なく外出できる徒歩用道案内サービス「ツギココ」を全国の100人以上の認知症の人とともに開発中。
- 昨年度（令和6年度）、社会実装に向けた実証実験に認知症の人11名、ご家族等8名が参画。
- 今後も引き続き実証実験を進め、2025年度には小規模でも社会実装することを目指している。

お一人で外出する際に、迷う不安を低減できる徒歩ナビ

特徴
1



目的地設定
病院 公民館
コンビニ 自宅へ

デジタルが苦手な方でも、簡単に案内開始

特徴
2

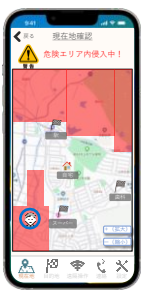


あと4分で
コンビニ
矢印の方角に目的地
12:34

GPS
地磁気

身体の方角に応じて、矢印のみで目的地の方角を案内

特徴
3



危険エリア内侵入中！

普通行かないエリアに侵入したら、家族に通知

使用方法



出発前にルート設定（設定は家族でも可）

自宅です事前設定



ワンタッチで目的地を選択

屋外では超簡単な操作のみ



目的地の表示を目的地の方角に歩く

トヨタ自動車株式会社の実践



【実証に参加した感想（例）】

困ったら画面を見ればいいので、不安なくスースー歩けました。一人でお出かけは諦めていたけど知らない場所に自力で行ける。本当にこんなことが起こるんだ！とビックリ。

【改良に向けたご意見（例）】

- 案内の頻度が高い（間隔が短い）と煩わしいので使いたくなくなるかもしれない。
- 画面上にボタンが表示されていると、とりあえず押したくなってしまう。 ※福岡市以外でのご意見も含む

実践でのご意見を踏まえた改良方針（2024年10月時点）

- 好みに応じて優先度が高くない案内の要否をカスタマイズできるようにし、煩わしさを回避する
- ボタンを常時表示しておくのではなく、現在地や案内状況に応じて必要性が高い場合にのみボタンを表示する

開発事例：トヨタ自動車株式会社 徒歩用道案内サービス「ツギココ」 (2/2)

- 参画いただく認知症の人の募集にあたってトヨタ自動車株式会社では以下のような募集資料を作成・配布した。

(注) 以下は昨年度（令和6年度）時点での募集内容のため、今年度は内容が異なる可能性があります。

トヨタ自動車株式会社

誰もが不安なく外出できる徒歩用道案内サービス「ツギココ」

TOYOTA No.2 時計型 徒歩用ナビ

安心して外出できる社会を一緒に実現しましょう！

外出中に迷う不安を感じる方、ぜひ体験して開発に協力下さい！



かんたん操作 徒歩ナビ ツギココ

トヨタ自動車でも簡単に使える徒歩用ナビ『ツギココ』を開発中です。デジタルが苦手でも、直観的に操作・理解できるナビです。実際に試してご意見をいただける当事者の方を募集しております。

特徴 お一人で外出する際に、迷う不安を低減できる徒歩ナビ

特徴 1 目的地設定 目的地、出発地、経由地をタッチで設定可能。→「感覚的に使える」→覚えなくても、忘れてもいい

特徴 2 コンビニ 近くにあるコンビニを自動で案内。→「間違えてもすぐに教えてくれる」→認知症による、迷う不安が解消！

操作方法

①目的地をワンタッチで案内開始

②進む方向が矢印で表示される

③矢印の向きに身体を向け歩いただけで、地図を読まずに到着

No.2 時計型 徒歩用ナビ

■ ご協力いただきたい内容

① かんたん操作徒歩ナビ『ツギココ』の体験
ご本人がお一人で外出したい場所に、ツギココを実際に使いながら徒歩で外出いただきます。場所は、ご指定頂いた所（自宅付近など）に伺います。

② 体験後の率直な感想をいただく
体験後に分かりにくかった点も含めた率直なご意見を頂きます。うまく使えなくても、それも貴重なご意見とし開発に活用します。

■ その他

- 単独外出したいが、迷う不安を抱えられている方に体験いただきたい。
- まずは事前打ち合わせを、オンラインで実施させていただきたい。
- 体験後に、4,490円(交通費込、源泉徴収後)をお振込みします。
- 体験時は、ご家族又は支援者に、後ろからご同行をお願いします。
- 開発に反映させるため撮影しますが、動画公開しませんのでご安心ください。
- 日時は、ご希望に応じて平日、休日間わず、調整可能です。

■ 取組み企業
TOYOTA
トヨタ自動車株式会社

■ みなさんと、こんな暮らしをかなえたい
〓 認知症になっても、不安なく外出できる社会を 〓



これまで20名以上の当事者の方に体験いただき、当事者の声を元にレベルアップしてきました。本気で社会実装したいと思っていますので、ぜひ皆様にもご協力をお願いします！

担当：山田

製品詳細について、詳しくはこちらの動画をご覧ください。
<https://youtu.be/47LTP3KVlzM>



● 参画していただきたい方の属性等を各社ごとに記載。

● ご参画された認知症の人には、「正当な対価（謝礼）」をお支払いする。

● 謝礼の内容は、現金、金券、カタログギフト、製品サンプル等、企業ごとに異なる。

開発事例：株式会社小谷常 誰もが気兼ねなく宿泊できる旅館「水屋敷」

- 小谷常は京都府京丹後市で病気や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく宿泊できる旅館「水屋敷」を経営。ユニバーサルツーリズムに対応した施設やサービスの改良に向けた検討を認知症の人との対話を通じて実施。

株式会社小谷常×京都府認知症応援大使

- 日時：2024年10月8日～10月9日 1泊2日
- 場所：『水屋敷』京都府京丹後市網野町小浜765
- 参加者：京都府認知症応援大使 1名、ご家族 1名 株式会社小谷常
- 実践内容：実際に宿泊してもらい、施設やサービスの内容について、チェックアウト前と帰宅後の計2回意見交換を実施。



【応援大使のご意見】

- 普段、ビジネスホテルに宿泊する際には客室が分からなくなることがあるので、必ず部屋番号の写真を撮る。今回は戸建てだったので迷いにくかったが、食事の帰りに少し迷いかけた際には、仲居さんが声掛けをしてくれ、スムーズでした。
- 室内の案内図やアイコン表示、周辺マップがあると良いと思う。
- 大浴場がある場合は着替えカゴに名前の紙などがあると助かる。

【ご家族のご意見】

- ほとんどの方は認知症になると旅行を諦めてしまう。
- 行けると思っていないので旅行のチラシも見なくなる。水屋敷の様に情報発信している所を見つければ行きやすくなる。

【ご意見を踏まえた対応（2024年10月時点）】

- 意見交換直後から、旅館全店に対して以下を周知・教育。
 - お客様から予約時に申告があった場合「何か配慮など必要か聞く」
例）客室について（入口近くがよいのか？ 静かな所がよいのか？）
食事時間について（その日の予約状況によって座席指定など）
 - お客様の症状によっては自分の脱衣荷物が分からなくなる事がある為、
名前を紙に記入して、カゴにつけることができるようにする。
※個人情報保護の為希望者のみ
 - フロントはチェックイン時に気付いた事があれば仲居に伝達・入力する。
 - 配膳時に気付いた事があれば申し送り書に記入

出所：経済産業省「認知症イノベーションアライアンスWG 令和6年度 第1回 事務局資料」p15

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ninchisho_wg/pdf/2024_001_03.pdf（参照年月日：2025年2月20日）

開発事例：豊島株式会社、アデッソ株式会社

- 医療機関や介護事業者等との連携にも注力。豊島株式会社は東京医科大学病院と連携し衣服をテーマに、アデッソ株式会社はBLG八王子と連携し、デジタル日めくりカレンダーをテーマに、認知症の人とともに開発を推進。

認知症疾患医療センターとの連携事例 東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」×豊島株式会社

- 日時：2024年9月11日（水）14：00～16：00
- 場所：東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」
- 参加者：認知症の人 2名、ご家族 2名
豊島株式会社、大学病院関係者、事務局



デザイン、色・柄で着たい
ものが見当たらない。

企業側の工夫が当事
者へ伝えきれていない。



使い勝手同様に安全
性への配慮が欲しい。

機能面だけでなく洗濯
時への配慮が欲しい。

介護事業者との連携事例 BLG八王子×アデッソ株式会社

- 日時：2024年8月27日（火）14：00～15：30
- 場所：BLG八王子
- 参加者：BLG八王子メンバー（認知症の人） 8名
アデッソ株式会社、BLG運営関係者、事務局



ゴミの日等の予定も分か
りやすく表示して欲しい。

既存品はスイッチが小さ
く、操作が難しい。



ナショナルブランドのデジ
タル日めくりカレンダーを
購入したが、機能が多
すぎて使いこなせない。

認知症の人や家族等からの声

- 認知症の人からは、企業と話し合える場があることや社会参加の場があることへの喜びや楽しさに関する声が多く寄せられた。
- また、家族・支援者等からは開発活動への参画が認知症の人の自己効力感の向上につながるとの声が寄せられた。

認知症の人からの声

- みんなで話すことは、これまでにあまりなかったが、今日はみんなと一緒に多くの話ができた。**自分でもみんなと一緒にいろんなことをしていいと分かって、とても楽しかった。**
- 自分の思いを企業と話し合える場があることがとても嬉しかった。**
- こんなものがあつたらいいなと思っていた製品がこれから開発されて、買えるようになることがとても楽しみ。**



家族・支援者等からの声

- サポートが必要なことが増えていたが、この取組を通じてできることや、こうなったらできそうという兆しが見えたように感じた。
- 普段は物静かなのに、今日はよく話していて驚いた。企業と話すことは認知症の人にとってよい刺激になるのではないかな。



【支援者からの声】

- 日常のなかで「できた」という喜びが非常に重要と感じた。普段の生活でも、楽しいこと、嬉しいことを積み重ねてほしい。

実現したい社会像および必要な事項

- 本プロジェクトによって実現したい「社会像」およびその「社会像の実現に向けて必要なこと」の取りまとめを昨年度実施。
- 本整理を念頭に、具体的な取組を進めていく予定。

オレンジノベーション・プロジェクトによって実現したい社会像

認知症の人のニーズや経験を反映した製品・サービスが身近にあり、
誰もが、自分の力や個性を活かしながら、大切にしたい暮らしを続けることができる社会

上記の社会像の実現のための必要な事項

- ① 多様な認知症の人が企業の開発に安心して参画し、声や思いを伝えることができること
- ② さまざまな地域で当事者参画型開発が実践されており、多くの認知症の人が開発に参画する機会があること
- ③ 認知症の人と企業の関係が「単発のもの（＝聞きっぱなし）」ではなく、適切なフィードバックが行われる「継続的なもの」であること
- ④ 認知症の人やその家族等の日々の生活に関わる多様な企業が当事者参画型開発を行っていること
- ⑤ 認知症の人とともに開発した製品・サービスにより、企業が十分な収益を上げることができていること
- ⑥ 自分にあった製品・サービスを認知症の人やその家族等が日々の生活の中で気軽に購入・利用することができること

【参考】令和7年度実践企業の公募

- 「当事者参画型開発」を新規に実践する企業・団体の公募を令和7年6月2日～20日に実施予定。

対象	「当事者参画型開発」の手法を用いて、以下の開発（検討中を含む）に取り組む企業・団体 ● 認知症の人の生活課題の解決に資する製品・サービス ● 認知症の人の「やりたいこと」の実現に資する製品・サービス
公募時期	令和7年6月2日（月）～6月20日（金） 17：00必着
想定されるテーマ	買い物、移動・交通、金融・財産管理、労働（就労・社会参画）、更衣・身だしなみ、調理・食事、掃除・洗濯、入浴・排泄、交流、趣味、学び、通院・通所、服薬、その他の生活課題等
開発に参画する方	- 認知症の人 ➢ 本公募においては、「認知機能の低下により日常生活に支障が生じている方」を指します。 ➢ 認知症の確定診断の有無は問わず、軽度認知障害（MCI）、軽度～中等度認知症、重度認知症、若年性認知症の方を含みます。 - 家族等 ➢ 本公募においては、「認知症の人に対する支援のみならず、その家族その他認知症の人と日常生活において密接な関係を有する者」を指します。 <u>※本事業では認知症の人の目線での開発を重視しているため、家族等の参画のみを想定した企画は対象外となります。</u> <u>家族等が参画する場合も、必ず認知症の人の意見を聞くようにしてください。</u>
公募要領公開ページ	https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=110970